

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 306 『前人未踏』 ぜんじん みとう

< 意味 > 過去にだれも到達したり足を踏み入れたりしていないこと。いままでだれも成し遂げたことがないということ。

表 言 : 前人未踏の大記録

用 例 : 誰の指導にも耳を傾けずに、前人未踏の土を踏んで行く冒険家のような面魂がある。

< 舟橋聖一・セールスマンの恋 >

語 釈 : 「前人」は今までの人、先人。「未踏」はだれもその場所に踏み込んでいないということ。「未踏」は「未到」とも書き、この場合はだれもたどり着いていない地点。

一 言 : 大リーグは9月30日にナ・リーグの全日程が終了し、ドジャースの大谷翔平選手が、まさに前人未踏のホームランと盗塁の記録50－50を達成し、最終的に54本塁打、59盗塁の実績を残して打撃2冠に輝きました。すごいですね。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」